

国土地理院の提供可能な 地理空間情報について

主要な地理空間情報の概要を説明します。

第 1.1 版

作成者	国土交通省国土地理院
作成日	2024年12月27日
最終更新日	2025年2月27日

目次

1.	数値地図(デジタル地図)について	1
1.1.	電子地形図 25000	1
1.2.	電子地形図 50000	1
1.3.	電子地形図 20 万	2
1.4.	数値地図(国土基本情報)	3
1.5.	数値地図(国土基本情報 20 万)	3
1.6.	基盤地図情報(基本項目)	4
1.7.	基盤地図情報(数値標高モデル)	5
1.8.	数値地図 25000(地図画像)	6
1.9.	数値地図 50000(地図画像)	6
1.10.	数値地図 200000(地図画像)	7
1.11.	数値地図 250mメッシュ(標高)	7
1.12.	数値地図 500 万(総合)	8
1.13.	数値地図 25000(土地条件)	8
1.14.	数値地図 5000(土地利用)	9
2.	点群データについて	10
2.1.	点群データ	10
3.	空中写真・オルソ画像について	11
3.1.	空中写真	11
3.2.	オルソ画像	12
4.	旧版地図について	13
4.1.	旧版地図	13
5.	地理院タイルについて	14
5.1.	地理院タイル	14
6.	高精度標高データについて	15
6.1.	航空レーザ測量データ	15
7.	刊行廃止・近年更新されていない数値地図について	16
7.1.	刊行廃止された数値地図	16
7.1.1.	数値地図 50mメッシュ(標高)	16
7.1.2.	数値地図 2500(空間データ基盤)	16
7.1.3.	数値地図 25000(空間データ基盤)	17
7.1.4.	数値地図 25000(行政界・海岸線)	17
7.1.5.	数値地図 25000(地名・公共施設)	17
7.1.6.	数値地図 10mメッシュ(火山標高)	18
7.1.7.	数値地図 5mメッシュ(標高)	18
7.1.8.	日本国勢地図(CD-ROM 版)	18


1. 数値地図（デジタル地図）について

国土地理院では、長く「2万5千分1地形図」を基本図としてきましたが、現在は、「電子国土基本図（データベース）」を新たな基本図として位置付けています。

1.1. 電子地形図 25000

電子地形図25000は、最新の電子国土基本図（地図情報）データを用いて作成される、最新のラスターデータです。本データは、電子国土基本図（地図情報）の更新にあわせて、アップデートされます。

1.1.1. 基本情報

縮尺	: 1/25,000
整備エリア	: 日本全国
データ形式	: ラスターデータ【TIFF形式／508dpi】
データサイズ	: 数メガバイトから数十メガバイト（1ファイルあたり）
ファイル構成	: 画像ファイル、位置情報ファイル、管理ファイル
図郭単位	: 2次メッシュ単位（2万5千分1地形図の図葉単位）で提供
確認事項	: 提供時の地図表現は、次のとおりです。 【高速道路】緑、【国道】赤、【都道府県道】黄 【国道番号】  、【陰影】緑、【建物】橙
情報サイト	: https://www.gsi.go.jp/kibanjoho/kibanjoho40030.html



補足情報

- ・ご希望の方は、申請書および申請別紙（リスト表）に必要事項を記載の上、提出してください。
 - ・画像ファイルの解像度は【508dpi】を有するため、高品質な印刷物を作成いただけます。
- ※提供する画像ファイルは、「定型図郭」のみとなりますので、自由図郭での申請は承りかねます。

1.2. 電子地形図 50000

電子地形図50000は、電子国土基本図（地図情報）のデータを用いて作成した調製時点の最新情報が反映された地図画像で、従来の5万分1地形図に相当するラスターデータです。2万5千分1地形図よりも広い範囲における地域の概況を、1枚で示すことができる特徴を生かし、「国土や地域を総合的・俯瞰的に捉える」ことを目的としています。2024（令和5）年4月より順次提供を開始し、2026（令和7）年度内の全国整備を目指します。

1.2.1. 基本情報

縮尺	: 1/50,000
整備エリア	: 更新情報 をご覧ください（整備中）。
データ形式	: ラスターデータ【PDF形式（GeospatialPDF）／508dpi】
データサイズ	: 数メガバイトから数十メガバイト（1ファイルあたり）
ファイル構成	: 画像ファイル、管理ファイル
図郭単位	: 5万分1地形図の図葉単位で提供
情報サイト	: https://www.gsi.go.jp/chizuhensyu/chizuhensyu41036.html



補足情報

- ・ご希望の方は、申請書および申請別紙(リスト表)に必要事項を記載の上、提出してください。
- ・PDF(GeospatialPDF)は【整飾】【注記・記号】【地図】【傾斜量図】【陰影起伏図】の5つのレイヤーで構成されており、必要に応じて「表示/非表示」を切り替えることができます。地図表現を用途に合わせて選択したり、書き込み用の注記・記号なしの地図を作成したりといったカスタマイズが可能です。
- ・画像ファイルの解像度は【508dpi】を有するため、高品質な印刷物を作成いただけます。

1.3. 電子地形図 20 万

電子地形図20万は、電子国土基本図(地図情報)のデータを調製して作成し、従来の「20万分1地勢図」に相当するラストデータです。表現されている内容は、20万分1地勢図とほぼ同様となり、調製時点の最新情報が反映されています。

1.3.1. 基本情報

- 縮尺 : 1/200,000
- 整備エリア : 日本全国
- データ形式 : ラスタデータ【TIFF形式/508dpi】
- データサイズ : 約300から800メガバイト(1ファイルあたり)
- ファイル構成 : 画像ファイル、位置情報ファイル、管理ファイル
- 図郭単位 : 1次メッシュ単位(20万分1地勢図の図葉単位)で提供
- 情報サイト : <https://www.gsi.go.jp/kibanjoho/kibanjoho40085.html>



1.3.1.1. 画像データサンプル

以下は、電子地形図20万「甲府」の表示イメージです。



補足情報

- ・ご希望の方は、申請書および申請別紙(リスト表)に必要事項を記載の上、提出してください。
- ・本データは「陰影・建物あり/なし」の選択が可能です。
- ・画像ファイルの解像度は【508dpi】を有するため、高品質な印刷物を作成いただけます。

1.4. 数値地図（国土基本情報）

数値地図（国土基本情報）は、これまで国土地理院が整備してきた、基盤地図情報、数値地図シリーズ（空間データ基盤、行政界・海岸線、地名・公共施設）および数値標高データ（5m、10m、50m メッシュ）をすべて統合し、さらに地図表現に必要な各種のデータ項目を加え、多様な属性情報を持たせた総合的な地理空間情報です。

本データは、情報の更新に応じて日々内容がアップデートされます。

1.4.1. 基本情報

縮尺	: 1/25,000
整備エリア	: 日本全国
データ形式	: ベクトルデータ【GML 形式／シェープファイル形式】
データサイズ	: 数メガバイトから数十メガバイト（1ファイルあたり）
ファイル構成	: 地図情報、地名情報、メッシュ標高情報、付属資料
図郭単位	: 2次メッシュ単位（2万5千分1地形図の図葉単位）で提供
情報サイト	: https://www.gsi.go.jp/kibanjoho/kibanjoho40027.html



1.5. 数値地図（国土基本情報 20万）

数値地図（国土基本情報20万）は、国土地理院が整備している電子国土基本図（地図情報）のデータを編集して作成したものであり、縮尺20万分1相当の地図描画に対応したベクトルデータです。データは、行政区画境界線、道路中心線、鉄道中心線、建物、海岸線、水涯線、土地利用記号、等高線、注記などの項目を含みます。

本データは、電子国土基本図（地図情報）の更新にあわせて、アップデートされます。

なお、「電子地形図20万」は、本データに基づいて作られています。

1.5.1. 基本情報

縮尺	: 1/200,000
整備エリア	: <u>提供範囲図</u> をご覧ください
データ形式	: ベクトルデータ【GML 形式／シェープファイル形式】
データサイズ	: 数メガバイトから数十メガバイト（1ファイルあたり）
ファイル構成	: 行政区画境界線、道路中心線、鉄道中心線、建物・海岸線 水涯線、土地利用記号、等高線、注記
提供区域	: 1次メッシュ単位（20万分1地勢図の図葉単位）で提供
特徴	: 主要な道路や鉄道の開通などが、速やかに提供データに反映されます。 これにより、公的機関の庁内 GIS および Web サイトに掲載する背景地図や民間の道路地図等にご利用いただけます。 また、道路中心線データは、真位置データのほか、転位後のデータも提供されます。
情報サイト	: https://www.gsi.go.jp/kibanjoho/kibanjoho40082.html



補足情報

- ・ご希望の方は、申請書および申請別紙（リスト表）に必要事項を記載の上、提出してください。
- ・ご利用なさる環境にあわせて、最適なデータ形式をお選びください。

1.6. 基盤地図情報（基本項目）

基盤地図情報は、2007（平成19）年に成立した地理空間情報活用推進基本法で規定され、整備が始められました。現在は国土地理院が中心となって整備を進めています。整備された基盤地図情報は、インターネットにより無償で提供されています。これを全ての関係者が位置の基準として利用することにより、国内の地理空間情報が同じ位置の基準をもった情報として整備され、重ね合わせなど高度利用を円滑に実施することが可能です。

1.6.1. 基盤地図情報の項目、満たすべき基準

基盤地図情報の整備項目や満たすべき基準については、基本法で規定されているように、国土交通省令として別途定められています。（地理空間情報活用推進基本法第2条第3項の基盤地図情報に係る項目及び基盤地図情報が満たすべき基準に関する省令（平成19年8月29日、国土交通省令第78号）

現在、基盤地図情報の項目として、以下の13項目が定められています。

01	測量の基準点	08	軌道の中心線
02	海岸線	09	標高点
03	公共施設の境界線（道路区域界）	10	水涯線
04	公共施設の境界線（河川区域界）	11	建築物の外周線
05	行政区画の境界線及び代表点	12	市町村の町若しくは字の境界線及び代表点
06	道路縁	13	街区の境界線及び代表点
07	河川堤防の表法肩の法線		



1.6.2. 基本情報

整備エリア	: 日本全国
データ形式	: ベクトルデータ【GML 形式】
データサイズ	: 数メガバイトから数十メガバイト（1ファイルあたり）
提供区域	: 2次メッシュ単位（2万5千分1地形図の図葉単位）で提供
情報サイト	: https://www.gsi.go.jp/kiban/towa.html
ダウンロード	: https://fgd.gsi.go.jp/download/menu.php



補足情報

- ・当院の Web サイトからダウンロード（無償）なさる場合は、「申請不要」でご利用いただけます。
- ・基盤地図情報の表示には、「基盤地図ビューア」または GIS ソフトウェアが必要です。
 基盤地図ビューア <<https://www.gsi.go.jp/MAP/HISTORY/FGDV.zip> >
 基盤地図ビューア操作説明書 <https://www.gsi.go.jp/MAP/HISTORY/fgdv_manual.pdf >
- ・情報セキュリティ等により、ダウンロードに支障がある場合はご相談ください。

1.7. 基盤地図情報（数値標高モデル）

数値標高モデルは、標高のメッシュデータです。

本データは、1m メッシュ、5m メッシュ、10m メッシュの 3 種類があります。

1.7.1. 基本情報

・1mメッシュ

地表面を 0.04 秒（約 1m）間隔で区切った方眼（メッシュ）中心点について、航空レーザ測量によって取得したデータをもとに作成した標高データ。

整備エリア : https://fgd.gsi.go.jp/download/ref_dem.html
データ形式 : メッシュデータ【GML 形式／XML 形式】
データサイズ : 数メガバイトから数十メガバイト（1ファイルあたり）
情報サイト : <https://www.gsi.go.jp/kiban/faq.html#3-1>
ダウンロード : <https://fgd.gsi.go.jp/download/menu.php>

・5mメッシュ

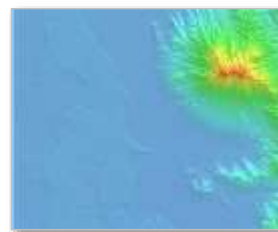
地表面を 0.2 秒（約 5m）間隔で区切った方眼（メッシュ）中心点について、航空レーザ測量及び写真測量によって取得したデータをもとに作成した標高データ。

整備エリア : https://fgd.gsi.go.jp/download/ref_dem.html
データ形式 : メッシュデータ【GML 形式／XML 形式】
データサイズ : 数メガバイトから数十メガバイト（1ファイルあたり）
情報サイト : <https://www.gsi.go.jp/kiban/faq.html#3-2>
ダウンロード : <https://fgd.gsi.go.jp/download/menu.php>

・10mメッシュ

国土地理院が発行している「2万5千分1地形図」の等高線データ等を基に、地表 0.4 秒（約 10m）間隔で区切った方眼（メッシュ）の中心点の標高を求めたデータ。

整備エリア : https://fgd.gsi.go.jp/download/ref_dem.html
データ形式 : メッシュデータ【GML 形式／XML 形式】
データサイズ : 数メガバイトから数十メガバイト（1ファイルあたり）
情報サイト : <https://www.gsi.go.jp/kiban/faq.html#3-4>
ダウンロード : <https://fgd.gsi.go.jp/download/menu.php>



補足情報

- ・当院の Web サイトからダウンロード（無償）なさる場合は、「申請不要」でご利用いただけます。
- ・データの閲覧またはシェープファイル形式等に変換可能なソフトウェアを提供しています。
基盤地図情報ビューア <<https://fgd.gsi.go.jp/download/documents.html>>
基盤地図情報ビューア操作説明書 <https://www.gsi.go.jp/MAP/HISTORY/fgdv_manual.pdf>
- ・情報セキュリティ等により、ダウンロードに支障がある場合はご相談ください。

1.8. 数値地図 25000 (地図画像)

数値地図25000(地図画像)は、国土地理院が発行している「2万5千分1地形図」を数値化した地図データです。印刷図(紙地図)の2万5千分1地形図とほぼ同じ地図の情報を、パソコン等で閲覧いただけます。

※2008(平成20)年で更新を終了しておりますので、最新データではないことを御承知おきください。

1.8.1. 基本情報

縮尺	: 1/25,000
整備エリア	: 日本全国(約4400面)
データ形式	: ラスタデータ【TIFF形式(PackBits圧縮)/254dpi】
データサイズ	: 約300メガバイト(1収録あたり)
ファイル構成	: 画像ファイル、管理ファイル等
情報サイト	: https://www.gsi.go.jp/MAP/CD-ROM/25000/t25000.html
表示ソフトウェア	: http://www.gsi.go.jp/MAP/ONLINE/miviewer.html



補足情報

- ・一図葉ごとに作成年(測量、修正、もしくは更新)が異なります。
- ・2003(平成15)年以降に作成(更新)された地形図は、四方に隣図との重複を持たせた仕様です。
- ・展開図法はUTM(ユニバーサル横メルカトル図法)ですので、座標帯(ゾーン)を超えるような広い範囲の貼り合わせを行う場合、正規化(上下が湾曲した台形状の図葉を長方形に変換する作業)が必要です。

1.9. 数値地図 50000 (地図画像)

数値地図50000(地図画像)は、国土地理院が発行している「5万分1地形図」を数値化した地図データです。印刷図(紙地図)の5万分1地形図とほぼ同じ地図の情報を、パソコン等で閲覧いただけます。

※2008(平成20)年で更新を終了しておりますので、最新データではないことを御承知おきください。

1.9.1. 基本情報

縮尺	: 1/50,000
整備エリア	: 日本全国(約1200面)
データ形式	: ラスタデータ【TIFF形式(PackBits圧縮)/254dpi】
データサイズ	: 約300メガバイト(1収録あたり)
ファイル構成	: 画像ファイル、管理ファイル等
情報サイト	: https://www.gsi.go.jp/MAP/CD-ROM/50000/t50000.html
表示ソフトウェア	: http://www.gsi.go.jp/MAP/ONLINE/miviewer.html



補足情報

- ・一図葉ごとに作成年(測量、修正)が異なります。
- ・展開図法はUTM(ユニバーサル横メルカトル図法)ですので、座標帯(ゾーン)を超えるような広い範囲の貼り合わせを行う場合は、正規化(上下が湾曲した台形状の図葉を長方形に変換する作業)が必要です。
- ・本データは、2万5千分1地形図の修正を受けて編集が行われるため、数値地図25000(地図画像)と比較して、地図の情報は古くなります。

1.10. 数値地図 200000 (地図画像)

数値地図200000(地図画像)は、国土地理院が発行している「20万分1地勢図」を数値化した地図データです。印刷図(紙地図)の20万分1地勢図とほぼ同じ地図の情報を、パソコン等で閲覧いただけます。

※2013(平成25)年で更新を終了しておりますので、最新データではないことを御承知おきください。

1.10.1. 基本情報

縮尺	: 1/200,000
整備エリア	: 日本全国(130面)
データ形式	: ラスタデータ【TIFF形式(PackBits圧縮)/254dpi】
データサイズ	: 約300メガバイト(1収録あたり)
ファイル構成	: 画像ファイル、管理ファイル等
情報サイト	: https://www.gsi.go.jp/MAP/CD-ROM/mi200k/t200000.html
表示ソフトウェア	: http://www.gsi.go.jp/MAP/ONLINE/miviewer.html



補足情報

- ・一図葉ごとに作成年(測量、修正)が異なります。
- ・提供するデータには、画像ファイルのほかに陰影(ぼかし)ファイルが含まれます。
- ・平成18年以降に作成(修正)された地勢図は、四方に隣図との重複を持たせた仕様になっています。
- ・展開図法は UTM(ユニバーサル横メルカトル図法)ですので、座標帯(ゾーン)を超えるような広い範囲の貼り合わせを行う場合、正規化(上下が湾曲した台形状の図葉を長方形に変換する作業)が必要になります。

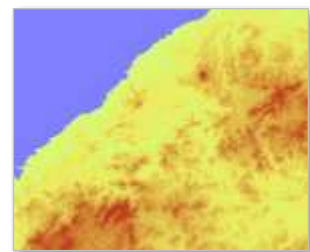
1.11. 数値地図 250mメッシュ (標高)

国土地理院が刊行している「2万5千分1地形図」に描かれている等高線から求めた数値標高モデル(DEM: Digital Elevation Model)データです。

ただし、北方領土については衛星データより等高線(50m間隔)を発生させて作成しています。

1.11.1. 基本情報

整備エリア	: 日本全国
データ形式	: https://www.gsi.go.jp/geoinfo/dmap/dem250m-filespec.html
データサイズ	: 数メガバイトから数十メガバイト(1収録あたり)
図郭単位	: 1次メッシュ単位(20万分1地勢図の図葉単位)で提供
情報サイト	: https://www.gsi.go.jp/geoinfo/dmap/dem250m-index.html
よくある質問	: https://www.gsi.go.jp/chizujoho/chizujoho40005.html



補足情報

- ・関東地方全域など広範囲な段彩図(高さごとに異なる色を付けたもの)の作成に、ご利用いただけます。
- ・データのご利用には、専用のソフトウェアが必要です。

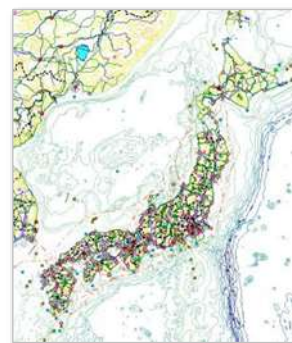
1.12. 数値地図 500 万（総合）

数値地図500万（総合）は、国土の全域や日本とその周辺地域との位置関係を把握できるデータで、地理教育や主題図の作成、地図帳編集等の基図等、様々な用途にご利用いただけます。

本データは、地理情報標準第2版に準拠した XML 形式で記述されています。

1.12.1. 基本情報

整備エリア	： 日本全国
データ形式	： ベクトルデータ【XML 形式】
データサイズ	： 数百メガバイト（1収録あたり）
刊行年月日	： 2005（平成17）年3月1日刊行
情報サイト	： https://www.gsi.go.jp/geoinfo/dmap/5000000-5000000outline.htm



1.13. 数値地図 25000（土地条件）

数値地図 25000（土地条件）は、防災対策や土地利用、土地保全、地域開発等の計画策定に必要な土地の自然条件等に関する基礎資料を提供する目的で、1955（昭和30）年代から実施している土地条件調査の成果を基に、地形分類（山地、台地・段丘、低地、水部、人工地形）等についてデータ化したものです。

1.13.1. 基本情報

整備エリア	： 首都圏のほか太平洋および瀬戸内海沿岸を中心とした地域
データ形式	： ベクトルデータ【XML 形式／GML 形式】
データサイズ	： 数百メガバイト（1収録あたり）
情報サイト	： https://www.gsi.go.jp/bousaichiri/lc_cd25000.html
閲覧サイト	： 地理院地図【数値地図 25000（土地条件）】
変換ツール	： 土地条件図数値データ変換ツール V1.0（11MB） 土地条件図数値データ変換ツール V2.0（95MB）



補足情報

- ・おもに2次メッシュ単位もしくは、それら複数の図葉を接合した単位のデータです。
- ・GML 形式ファイルをシェープファイル (ESRI Shapefile) にする場合は、変換ツールをご利用ください。

1.14. 数値地図 5000 (土地利用)

数値地図5000(土地利用)は、三大都市圏(首都圏、中部圏、近畿圏)の主要部を対象地域として実施されている「宅地利用動向調査」による土地利用状況の調査成果を、圏域ごとにまとめた土地利用区域数値データです。土地利用区域数値データは、調査基準年時点【例:「数値地図 5000(土地利用)近畿圏2008年」では、2008年時点】での陸域15種類の土地利用状況に分類したポリゴンデータを、平面直角座標系に基づく3×4kmの区画を1ファイルとして、地理情報標準プロファイル(JPGIS)準拠のXML形式にしたものです。

1.14.1. 基本情報

整備エリア	: 三大都市圏(首都圏・中部圏・近畿圏)
データ形式	: ベクトルデータ【XML形式】
データサイズ	: 数百メガバイト(1収録あたり)
情報サイト	: https://www.gsi.go.jp/kankyochiri/lum-5k.html
ダウンロード	: ファイル変換ツール(XML→Shape)



補足情報

- ・首都圏は2005(平成17)年、中部圏は2003(平成15)年、近畿圏は2007(平成19)年時点のデータです。
- ・本データは、[地理院地図](#)の情報リストメニューから「主題図」→「宅地利用動向調査」→各地区(首都圏、中部圏、近畿圏)を選択することで閲覧いただけます。

2. 点群データについて

2.1. 点群データ

点群データは、航空レーザ測量データのうち、オリジナルデータの各点に色情報 (RGB) と簡易的な class 分類 (地表、水部、その他) の情報を付与したデータです。class 分類の他は、オリジナルデータの属性情報を引き継いでいます。

2.1.1. 基本情報

整備エリア	: 日本全国 (但し、国土地理院が航空レーザ測量を実施した地域)
座標系	: 地理座標系 (経度、緯度)
データ形式	: ポイントデータ【LAZ 形式】 (LAS 形式 (Ver. 1.2 Point Data Record Format 3) を圧縮した形式)
データサイズ	: 1ファイル (3 次メッシュ) あたり、数メガバイトから数ギガバイト
図郭単位	: 2次メッシュ単位 (2万5千分1地形図の図葉単位) で提供
情報サイト	: https://www.gsi.go.jp/gazochosa/tengun.html



補足情報

- ・国土地理院が航空レーザ測量を実施した地域について随時提供を行います。
- ・時点の提供範囲は、情報サイトで確認することができます。
- ・点群データの取得密度は 1m² あたり 4 点以上です。

3. 空中写真・オルソ画像について

3.1. 空中写真

空中写真は、測量を目的として航空機から国土を撮影した画像で、現況を忠実に写しています。写された画像は、国土の状況や環境の把握、社会基盤の管理、災害時における被災地域の特定など広範な分野に活用できる国土の管理に不可欠な基盤的情報です。国土地理院は、国土の適切な管理、保全、利用のため、国土や地域の管理上重要な平野部および離島を対象として全国土の約半分の地域について、空中写真の撮影を行っています。

また、空中写真は国土の変化の履歴を記録している貴重な資料になるとともに、地図作成または更新する際に欠かせない情報となっています。特に災害が発生した際、被災地域を撮影した空中写真は、初動対応や被災状況の把握、応急復旧、復興のための重要な資料です。

これまでに撮影した国土の空中写真は、1930年代から現在に至るまでの全てを保管しています。国土地理院が撮影したものに、1945年前後に米軍が撮影したものも含め、全ての空中写真は「[地図・空中写真閲覧サービス](#)」でご覧いただけます。

3.1.1. 基本情報

整備エリア	: 日本全国(約125万枚)
データ形式	: 画像データ【JPEG形式／TIFF形式】
データサイズ	: 1メガバイトから1.8ギガバイト(1画像データあたり)
画像解像度	: 400dpi から 2540dpi
撮影縮尺	: 1/8000 から 1/40000
撮影フィルム	: モノクロまたはカラー(デジタル撮影の場合はカラー写真のみ)
情報サイト	: https://www.gsi.go.jp/gazochosa/gazochosa41006.html
閲覧サイト	: 地図・空中写真閲覧サービス ※高画質で閲覧いただけます。



補足情報

- ・ご希望の方は、申請書および申請別紙(リスト表)に必要な事項を記載の上、提出してください。
- ・使用目的に応じて適切な空中写真のデータ形式をお選びください。
道路や建物の確認には【JPEG形式】、公共測量を行う場合は【TIFF形式】を推奨します。

3.2. オルソ画像

オルソ画像は、写真上の像の位置ズレをなくし空中写真を地図と同様に、真上から見たような傾きのない、正しい大きさと位置に表示される画像に変換(正射変換)したものです。写された像の形や位置が正しく配置されているため、GIS(地理情報システム)などにおいて、画像上で位置、面積および距離などを正確に計測することが可能となるため、地図データなどと重ね合わせて利用することができる地理空間情報です。

3.2.1. 基本情報

整備エリア	: 都市計画区域及び山間部 ※原則として2007(平成19)年以降に撮影された空中写真と同範囲です。
データ形式	: 画像データ、位置情報ファイル【TIFF形式、TFW形式】
情報サイト	: https://www.gsi.go.jp/gazochosa/gazochosa40002.html
確認サイト	: http://renkei2.gsi.go.jp/renkei/BL2ortho/index.html



補足情報

- ・ご希望の方は、申請書および申請別紙(リスト表)に必要事項を記載の上、提出してください。
- ・本データは、2007(平成19)年以降に撮影された空中写真から作成され、元となる空中写真の撮影縮尺は主に都市計画区域で、1/10000(または地上画素寸法 20cm)、主に山間部で1/20000(または地上画素寸法 40cm)となります。
- ・画像データ(1ファイルあたり)は、30×30秒区画(緯度によっては約1km弱)で、データサイズは約50MBです。
- ・正規化された画像は、1区画あたりの画素数(ピクセル数)はどの場所でも同じです。
また、地図と重ねる用途には投影法を合わせる必要があります。
- ・地理院地図で閲覧可能な2007(平成19)年以前のオルソ画像は、国土交通省国土計画局が国土画像情報として作成した簡易オルソです。このデータは、地理院タイル形式でのご提供となります。
国土画像情報の詳細は<https://www.gsi.go.jp/johofukyu/kani_ortho_1.html>をご参照ください。

4. 旧版地図について

4.1. 旧版地図

旧版地図は、過去に刊行された地図が、新刊図の発行によって絶版になった印刷図（紙地図）のことです。また、国土地理院およびその前身である地理調査所が明治以降に作成した「2万5千分1地形図、5万分1地形図、20万分1地勢図」等の印刷図（紙地図）をスキャンした画像データを整備しています。

4.1.1. 基本情報

整備エリア	: 日本全国
データ形式	: 画像データ【TIFF形式】
データサイズ	: 数メガバイト（1画像データあたり）
カラー種別	: 白黒、カラー（縮尺によって色数は異なります）
画像解像度	: 600dpi（一部400dpi）
確認サイト	: https://mapps.gsi.go.jp/history.html



補足情報

- ・ご希望の方は、申請書および申請別紙（リスト表）に必要事項を記載の上、提出してください。
- ・明治時代初期に作成された「1万分1地形図／2万分1地形図」の提供申請も承ります。
- ・作成された年代によって図法が異なります。
- ・本データは印刷図（紙地図）全体をスキャンしているため、余白や整飾部分も含まれます。

5. 地理院タイルについて

5.1. 地理院タイル

地理院タイルは、国土地理院が配信するタイル状の地図データです。

タイルという名のとおりに、建物の壁や天井、歩道などで見かける「タイル」と同様に、敷き詰められて表示されるものです。当院のサーバから配信されるタイル状に分割された地図データが、利用者のブラウザやアプリ等の画面上に表示されることで、地図を利用することが可能です。

5.1.1. 基本情報

整備エリア	: 日本全国
データ形式	: ラスタデータ【地図画像は PNG 形式、写真画像は JPEG 形式】
画像サイズ	: 256×256 ピクセル(1タイルあたり)
情報サイト	: https://maps.gsi.go.jp/development/ichiran.html
技術情報	: https://maps.gsi.go.jp/help/#tech
閲覧サイト	: https://maps.gsi.go.jp/



5.1.2. タイル一覧

ベースマップ	ズームレベル	データソース
標準地図 淡色地図	5~ 8	小縮尺地図(500万分1)
	9~11	小縮尺地図(100万分1)
	12~14	電子国土基本図 (一部、小縮尺地図「20万分1」の情報を含む)
	15~17	電子国土基本図 (電子地形図25000と同じ地図表現)
	18	電子国土基本図 (都市計画区域を中心にレベル2500)
白地図	5~ 8	小縮尺地図(500万分1)
	9~14	小縮尺地図(100万分1~20万分1)
English	5~ 8	Japan And Its Surroundings (レベル500万)
	9~11	1:1,000,000 INTERNATIONAL MAP (レベル100万)

補
足
情
報

- ・ご希望の方は、申請書および申請別紙(希望範囲図等)に必要事項を記載の上、提出してください。
- ・データをご用意するのに、**30日程度**時間を要しますので、あらかじめ御承知おきください。
- ・「地理院タイル活用ツール」でダウンロードなさる場合は、「申請不要」で御利用いただけます。

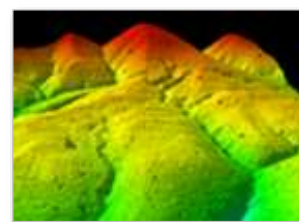
6. 高精度標高データについて

6.1. 航空レーザ測量データ

航空レーザ測量は、航空機（飛行機、ヘリコプター等）から地上に向けて多数のレーザパルスを発射し、地表面や地物で反射して戻ってきたレーザパルスから、高密度な三次元デジタルデータを取得する測量技術で、その計測によって得られた成果を国土地理院が管理しています。

6.1.1. 基本情報

整備エリア : 日本全国
情報サイト : https://www.gsi.go.jp/kankyochiri/Laser_index.html
確認サイト : <https://renkei2.gsi.go.jp/renkei/laserarea/index.html>



6.1.2. データの種類

1. 標高値に関するグリッドデータ

グラウンドデータを、必要に応じて任意のグリッド(格子状)に整理した数値標高モデル(DEM)

2. オリジナルデータ

航空レーザ測量により直接得られた計測データを解析し、ノイズ等のエラーデータを除いたランダムな点群の標高データ

3. グラウンドデータ

オリジナルデータから、樹木や建物等の人工構造物など、地表面以外の地物を取り除いた(フィルタリングした)地盤面のランダムな点群の標高データ

4. 水部ポリゴンデータ

オルソ画像データを背景にして、水部(海、河川、湖池など)の範囲をデジタイズして作成したポリゴンデータ

5. オルソ画像データ

航空レーザ測量と同時に取得された空中写真画像データを、三次元計測データを用いて正射変換して作成した簡易オルソ画像データ

補足情報

- ・ご希望の方は、申請書および申請別紙(希望範囲図等)に必要事項を記載の上、提出してください。
- ・災害対策等の公共性及び公益性の高い業務にご利用なさる場合に限り、申請してください。
- ・ご利用にあたっての特別な制限がありますので、注意事項を遵守してください。
- ・整備範囲および個別データの情報については、あらかじめご確認ください。

7. 刊行廃止・近年更新されていない数値地図について

7.1. 刊行廃止された数値地図

ここから掲載する地理空間情報は、刊行廃止および未更新の成果ですが、ご依頼に応じてデータを提供します。しかしながら、技術的なお問合せ等には回答いたしかねますので、あらかじめ御承知おきください。

7.1.1. 数値地図 50m メッシュ (標高)

本データは、地表約 50m 間隔に区切った方眼(メッシュ)中心点の標高を、「2万5千分1地形図」から計測したものです。また、この数値地図は地形を三次元表現する鳥瞰図等のほか、電波到達域や視通の確認、傾斜分類等の地形解析などに利用されます。

7.1.1.1. 基本情報

整備エリア	: 日本全国
データ形式	: メッシュデータ【テキスト形式】
提供区域	: 2次メッシュ単位(2万5千分1地形図の図葉単位)で提供
情報サイト	: https://www.gsi.go.jp/MAP/CD-ROM/abolition.htm



補足情報

- ・県境をまたぐ広い範囲で、段彩図(高さごとに異なる色を付ける)を作成する用途にご利用いただけます。
- ・データ編集には、専用のソフトウェアが必要です。

7.1.2. 数値地図 2500 (空間データ基盤)

本データは、一般に都市計画基図と呼ばれる「縮尺2500分1図」に描かれている情報から、「行政区域・海岸線、道路中心線、鉄道、内水面、建物、基準点」等の項目を数値化したものです。

GIS(地理情報システム)を利用する上で、必要な数値地図であり GIS に適したデータ形態になっています。

※本データは2007(平成19)年以降更新されていません。

最新データは、数値地図(国土基本情報)で提供しています。

7.1.2.1. 基本情報

整備エリア	: 原則として都市計画区域
データ形式	: ベクトルデータ【XML 形式】
提供区域	: <u>刊行区域</u> をご覧ください
情報サイト	: https://www.gsi.go.jp/geoinfo/dmap/dm2500sdf/index.html



7.1.3. 数値地図 25000（空間データ基盤）

本データは、2万5千分1地形図に描かれている情報から、「道路中心線、鉄道中心線、河川中心線、水涯線、海岸線、行政界、基準点、地名、公共施設、標高」の項目を数値化した成果です。GIS(地理情報システム)での利用を想定したデータになります。

※本データは2004(平成16)年以降更新されておられません(新潟県のみ平成19年以降未更新)。

最新データは、数値地図(国土基本情報)で提供しています。

7.1.3.1. 基本情報

整備エリア	: 日本全国
データ形式	: ベクトルデータ【XML 形式】
情報サイト1	: <u>新潟県の数値地図25000(空間データ基盤)</u>
情報サイト2	: <u>新潟県を除く数値地図25000(空間データ基盤)</u>



7.1.4. 数値地図 25000（行政界・海岸線）

本データは、「2万5千分1地形図」に描かれている情報のうち、「行政界・海岸線」についてベクトル形式で数値化した成果です。数値化したデータは、2万5千分1地形図の精度を保持しています。また、データの特徴として、市区町村や島の領域が認識でき、市区町村ごとの色塗り図等の作成や白地図として御利用いただけます。

※最新データは、基盤地図情報または数値地図(国土基本情報)で提供しています。

7.1.4.1. 基本情報

整備エリア	: 日本全国
データ形式	: ベクトルデータ【XML 形式】
更新情報	: 2009(平成21)年10月1日刊行分で更新を終了しています。



7.1.5. 数値地図 25000（地名・公共施設）

本データは、「2万5千分の1地形図」から注記および公共施設の記号を取得し、代表点や属性等を付加した地名および公共施設データです。このデータは、【注記テーブル、注記座標テーブル、注記所属テーブル、記号テーブル、公共施設テーブル】の5種類で構成されています。また、GIS(地理情報システム)において「地名・公共施設」はもっとも必要な基本情報であり、幅広い分野での利用が期待されます。

※本データは2001(平成13)年以降、更新されていません。

最新データは、数値地図(国土基本情報)で提供しています。

7.1.5.1. 基本情報

整備エリア	: 日本全国
データ形式	: テキストデータ

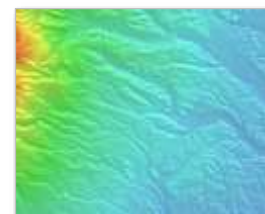
7.1.6. 数値地図 10mメッシュ (火山標高)

本データは、国土地理院発行の「5千分1および1万分1火山基本図」に描かれている等高線を数値化し、その数値データを基にして作成した数値標高モデル (DEM : Digital Elevation Model) です。火山基本図を南北及び東西方向に、それぞれ10m 間隔で分割して得られる各方眼の中心の標高が記録されています。1 枚の CD-ROM に、25 火山「1. 雌阿寒岳、2. 有珠山、3. 岩木山、4. 秋田焼山、5. 岩手山、6. 秋田駒ヶ岳、7. 鳥海山、8. 蔵王山、9. 安達太良山、10. 磐梯山、11. 那須岳、12. 草津白根山、13. 浅間山、14. 焼岳、15. 富士山、16. 東伊豆単成火山群 (遠笠山・大室山・小室山)、17. 伊豆大島、18. 三宅島、19. 鶴見岳 (鶴見岳・由布岳)、20. くじゅう連山、21. 阿蘇山 (中岳)、22. 雲仙岳、23. 霧島山、24. 薩摩硫黄島・薩摩竹島、25. 諏訪之瀬島」の全データを収録しています。

※基盤地図情報 (数値標高モデル) の10m メッシュに格納されています。

7.1.6.1. 基本情報

整備エリア : 25火山
データ形式 : メッシュデータ
【ヘッダは CSV 形式、メッシュはテキスト形式またはバイナリー形式】



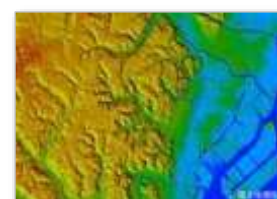
7.1.7. 数値地図 5mメッシュ (標高)

本データは、地表5m間隔で区切った方眼 (メッシュ) 中心点の標高を、航空レーザ測量によって取得したデータを基に、家屋や橋、樹木等を取り除いた地表面データとして作成した高精度な数値標高モデル (DEM) です。詳細な標高データを使用することにより、GIS (地理情報システム) の基盤データとして、微細な地形表現をできるほか、陰影段彩図の作成や河川災害等のシミュレーションにも利用でき、都市災害の防止対策等に活用できます。

※最新データは、基盤地図情報 (数値標高モデル) で提供しています。

7.1.7.1. 基本情報

整備エリア : 15地区 (東京や大阪等の大都市圏)
データ形式 : メッシュデータ【ヘッダは CSV 形式、メッシュはテキスト形式】



7.1.8. 日本国勢地図 (CD-ROM 版)

国土地理院発行の「新版日本国勢地図」(1990年)に収録されている96のテーマのうち、主なものについて収録しています。また、人口統計については1995 (平成7) 年のデータが追加されています。

※1990 (平成2) 年に刊行し、1997 (平成9) 年に一部更新しています。

7.1.8.1. 基本情報

整備エリア : 日本全国
データ形式 : ベクトルデータ、画像データ、テキストデータほか
閲覧サービス : <https://www.gsi.go.jp/atlas/atlas-etsuran.html>

